



▲地元野菜やおかしなどがもらえるコスモス巡り場所当てクイズでは、約150の方が楽しみました

コ コスモス巡り実行委員会 & 夜須町まちづくり協議会
コスモスで繋がる地域の輪

10月24日(日)～11月7日(日)の期間に町内の5地区に植えられたコスモスを楽しんでもらおうとコスモス巡り実行委員会主催で「夜須町コスモス巡り2021」を開催しました。これは数年前から、各地域で稲刈り後の田んぼなどにコスモスの種をまいて、秋には一斉に咲いた花を地域で楽しんでいたもので、今年は各地域のコスモスをより多くの皆さんに楽しんでいただければと実行委員会を立ち上げ計画。

11月7日(日)には夜須公民館芝生広場でくじ引きや、メダカすくい、わくわくクッキングなどが催され、多くの来場者を楽しませていました。参加者からは、「コスモス巡りが楽しかった」「楽しいイベントをありがとう」など久しぶりの夜須町のイベントに大満足の様子でした。

菜 夜須町まちづくり協議会 高規格道路下の農地を有効活用
花の種まきを夜須幼稚園年長さんと一緒に!

11月15日(月)夜須町ICと県道の三叉路にある耕作していない農地へ夜須町まちづくり協議会が菜花の種まきを行いました。これは6年前から夜須町の玄関口となる場所で“おもてなし”ができたらずと花を育てるようになり、令和2年からは幼稚園児と一緒にしています。今年も幼稚園児20人が先生と一緒に参加して、協議会メンバーにまき方を教えてもらいながら楽しく種まきをしました。協議会メンバーは「子どもたちの小さな手でまいた種がすくすくと生長するのが楽しみ」「花が咲いたら散歩にきてください」と作業を終えた園児らを見送っていました。



▲見頃は2月中旬から3月末ごろ



▲地域のあちこちでカメラに花火をおさめる姿がみられました

赤 夜空を彩る冬の花火とまちを彩る可憐な花を愛でる
赤岡町まちづくり協議会設立記念花火大会、花いっぱい運動

11月27日(土)赤岡町まちづくり協議会が主催する「花いっぱい運動」「設立記念花火大会」が行われました。この協議会は3月28日に設立し、赤岡町の活性化に向けて、住民同士が集い、協力し合えるまちづくりを目指してさまざまな事業に取り組んでいます。花いっぱい運動は、協議会のPRを兼ねたステッカーを貼ったプランターに花を植え、町内の事業所、小中学校等に設置しました。また、同日夜には、新型コロナウイルス感染拡大に伴い延期となっていました「設立記念花火大会」を実施。約250発の花火が赤岡町の夜空に舞い上がりました。住民の方には近くで見る大きな花火となったことでしょう。いくつかのお祭りが中止となるなか、久しぶりの花火に「すごくよかった」「きれいだった」という声も多く聞かれ、すばらしい冬の花火となりました。



▲全てのプランターに「花いっぱい運動」のステッカーを貼って



▲101個のプランターにパンジーやマリーゴールドを植え町内の主要箇所へ設置しました

山 土佐藩家老・山内規重没後300年 山北ゆかりの地ウオーキング
内規重を思いながらゆかりの地を歩く

令和3年11月20日(土)山北村(現香我美町山北)に閉居していた土佐藩家老・山内規重のゆかりの地を訪ね歩きました。

たくさんの実が茂ったみかん畑を眺めながら、どんな日照りでも水が枯れないといわれる井戸「殿様釣井」や屋敷跡、山北で生まれた規重の子・豊敷(後の8代藩主)のへその緒埋葬地を回った後、山北の棒踊りが行われる浅上王子宮を訪ねました。棒踊りは規重を喜ばせようと、村人が披露した小栗流棒術が始まりとされていることなどの説明を受けながら、参加者は貴重な歴史に触れるウオーキングを楽しみました。



▲土佐藩8代藩主・豊敷のへその緒埋葬地で「僕も殿さまになれるように!」と願う少年

塩 ファミリーサポートセンター交流会
塩づくりで楽しく防災体験

11月23日(火・祝)YASU海の駅クラブにて、こうなんファミリーサポートセンター交流会が行われました。当日は、塩づくりや防災体験を楽しみながら、会員同士が交流し情報交換しました。

参加した子どもたちは、注意点を教えてもらいながら自分たちの手で火をおこし、海水から塩を作りました。ほかにも豚汁や焼き芋も作り、最後は参加者全員で昼食。自分たちで一生懸命作ったご飯を、子どもたちは美味しそうに食べていました。火おこしなど、楽しみながら防災技術を学び、今後活かせる経験となりました。



▲消えないように、大事に大事に火を育てました

出 令和3年度香南ふれあい祭り&香南市人権啓発フェスティバル
会い・ふれあい・学びあい

11月23日(火・祝)のいちふれあいセンターで「香南ふれあい祭り」が開催されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体験教室や出前講座は事前申込制とし、会場入口で検温・消毒・名簿記入を徹底。飲食の出店はテイクアウトのみにするなど、例年より規模は縮小しましたが、約500人の市民の方が参加しました。体験教室は「親子ヨガ教室」や「子ども工作教室」など6教室、出前講座は認知症について学ぶ「認知症サポーター養成講座」など2講座を開催し、家族や友人とのふれあいを感じることができた一日となりました。



▲今年度の体験教室は事前予約が必要でしたが、それでも多くの市民が参加しました!

同時開催された「香南市人権啓発フェスティバル」では、人権作文等の表彰を行いました。その後、北京・ロンドンパラリンピック競泳日本代表・伊藤真波さんを講師にお招きし、講演会が行われました。障害を持ちながらも前を向く伊藤さんの言葉は力強く、講演を聞く人たちに「あきらめない心」を伝えてくれました。

